

平成 29 年 11 月 7 日

## 常陽銀行・足利銀行と地元国立 3 大学との連携協力協定の締結 および大学発ベンチャー創出のための寄附金の贈呈について

めぶきフィナンシャルグループの常陽銀行（頭取 寺門 一義）および足利銀行（頭取 松下 正直）は、より強固な学・金連携の下で地方創生・地域活性化を目指すことを目的に、このたび、両行の主たる営業地域である茨城、栃木両県に所在する国立 3 大学と連携協力協定を締結しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本協定にもとづく大学発ベンチャーの創出を目的に、昨年 12 月から本年 6 月にかけて実施いたしました「第 1 回めぶきビジネスアワード」にご応募いただいた茨城大学、宇都宮大学、筑波大学に在籍する教授・研究室等からの応募プランについて、各大学より 1 プランを選定し、今後の事業化に向けた取り組みへの支援として寄附金を贈呈いたします。

めぶきフィナンシャルグループ各社は、今後とも、学金連携のもと、地域の企業の課題解決、競争力強化に向けた取り組みを進め、地域経済の成長と活性化に貢献してまいります。

### 記

#### 【連携協力協定の締結概要】

協定締結関係	常陽銀行と宇都宮大学、足利銀行と茨城大学、足利銀行と筑波大学
協定の内容	・ 新技術・新規事業分野・大学発ベンチャーに関する情報交換および支援 ・ 地元企業との情報交換・連携の強化 ・ 講演およびセミナーの開催 等

#### 【寄附金の贈呈概要】

寄附金贈呈先	茨城大学（プラン提案者：鈴木 智也 教授） 宇都宮大学（プラン提案者：伊藤 篤 教授） 筑波大学（プラン提案者：亀田 敏弘 准教授）
寄附金額	各大学に対し 50 万円

※詳細は別添参照願います。

以上

(別紙)

【寄附金贈呈対象プラン内容】

大 学	茨城大学	宇都宮大学	筑波大学
提 案 者	鈴木 智也 教授	伊藤 篤 教授	亀田 敏弘 准教授
プラン名	人工知能の集合知を活用した 投資銘柄の選択	ビーコンと連動するスマートフォン を軸とした観光活性化	50万円超小型人工衛星時代への 世界参加型リアルアプローチ
プラン概要等	人工知能（AI）を使った個別株の値動きを予測する仕組みの研究。膨大なデータから、AI が人間では見抜けない個別株の価格変動の“クセ”を捉え、将来の値動きを予測する。加えて、「集合知」の考え方を採用し、複数の AI の多数決に従った意思決定および標準偏差によるリスク管理をすることで、正解を導く確率を7～8割まで高められている。	ビーコンを活用した観光情報の提供を通じ、旅行者への満足度の提供、地域事業者の活性化を目指すプラン。 独自の旅行心理学のモデルを応用したサービスモデルを構築し、再訪・リピートのメカニズムを組み込むことに成功。 また、ビーコンを利用したポイント制度などを地域と連携して進めていく計画。	開発した50万円超小型人工衛星用各種モジュール機器を地上用にアレンジしたものを、詳細な解説書とセット販売し、地上用模擬人工衛星の組立体験、衛星開発の基礎知識習得、宇宙開発コミュニティにおける共有体験、の3つが同時に得られる製品を提供するプラン。

以 上